

その2 伊加賀

(平成4年5月1日号—第157号)

皆さんは、伊迦賀色許男命[\[いかがしこおのみこと\]](#)という人物の名を、耳にしたことがありますか。『古事記』や『日本書紀』によると、彼は崇神[\[すじん\]](#)天皇のおじに当たり、その立場を背景に勢力を誇った人物で、淀川と天野川の合流する地域を支配していたと記されています^{*1}。当時の交通手段が主に船だったことを考えると、淀川と天野川の合流する地域は、交通の要衝であったろうと考えられます。そんな地域を支配していたことから、彼がいかに権勢を誇っていたか、十分推しはかることができます。伊加賀の地名は、彼の名にちなんでつけられたと言われています。



2 意賀美神社(枚方上之町)

意賀美[\[おかみ\]](#)神社の由緒に、彼の住居が現在の伊加賀北町のあたりにあったことが書かれています。今では伊加賀北町も、緑に囲まれた住宅街になっており神社由緒で彼の住居跡と書かれている付近からは、淀川や枚方丘陵、かなたに高槻・京都の山地など、すばらしい風景が眼前に広がっています。はるか昔、彼もこの地で四季折々に変化するすばらしい風景の色を楽しんだことでしょう。

^{*1} 『記・紀』本文には「おじ」とは記されないが、『旧事本紀』[\[くじほんぎ\]](#)などの記述を総合するとそのようである。また、「淀川と天野川の合流する地域を支配していた」の記述は、いづれにも見当たらない。